

起因物、事故の型：玉掛用具 - 飛来・落下の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	6~7	当社事業所にて、トラックに重機のバケットを搭載作業中に、バケットのチェーンが突然切れて、バケットを支えていた手にバケットが落下し、左手の環指及び中指に骨折等を負った。	62	30209	—
1	10~11	車庫内で山留材（H鋼加工品）が締結用金具を使って縦2本1組の状態のものを、レンフロランプで上段を掴んで吊り上げたときに、締結用金具が外れて下段の1本が自身の左足先に落下した（本人リモコン操作、資格有）。	44	40301	100~299
1	11~12	道路上で、俯せに下ろしてあったベンチフリュームを仰向けにするために掛けたワイヤーのフックが、完全に掛かっていることを確認していなかったために外れて足の上に落ちた。	68	30199	1~9
1	1~2	事業所工場内のオートボラー作業場所に於いて、穴あけ後の鋼板（25×250×1000≒50kg）をマグネットを用いて移動する際、鋼板をマグネットの接着面にゴミ（カス）の介在、鋼板センターから偏心して取り付けたため、鋼板のバランスが崩れて落下し、その際に右足のすねを負傷した。	25	11209	30~49
1	11~12	工場内にて、トラックからの荷下ろし作業中、ハッカーにて平鋼（3m×15cm）重量135kg×3枚を持ち上げる際に片側のハッカーの爪が引っ掛かり平鋼が両足の上に落下し負傷した。	36	11209	10~29
1	8~9	当社工場内にて、巾1.5m、長さ4m、板厚（6m/m×4枚=24m/m）、重量1140kgの長方形の板を移動中、吊り具が外れ、アゴ部分に吊り具部品が当たり、口元と口腔内を負傷した。	30	11209	30~49

2	9~10	<p>該者は、団体の従事者として従事しており、事故当時は作業使用船の片付け作業中、船尾に取り付けていたロープリールの取り外しの為、左舷側陸上から車輛ユニックで吊り上げていたところ、吊り上げに使用していたロープが切れ船体甲板から約150cm位の高さからロープリールが斜めの形で真下の甲板上へ落ち、その勢いで右舷側に転がり右舷端にいた該者の胸辺りがロープリールと右舷船体に挟まり負傷したものである。</p>	60	30111	—
2	11~12	<p>工場内製造一課にて冷凍スリ身をブロックカッター機械で裁断していたが本来ならスリ身を戻さないが、きちんと切れなかったため押し戻した際、上から降りてくる刃に指が触れ右手人差し指骨折裂傷してしまった。</p>	46	30201	1~9
2	18~19	<p>自社工場内において、時間外でメッキ処理準備作業中、鋼鉄製ベースプレート（980mm×1200mm×15mm、重さ約135kg）の表面ねじ穴にアイボルト（治具）を1点取り付け、天井クレーンで持ち上げ移動しようとしたところ、治具がねじ穴の奥まで入っていなかったため、約75度まで傾いたところで外れて倒れ、下に置いていたベースプレート在庫との間に右手薬指先端部を挟み負傷した。</p>	35	11204	10~29
2	15~16	<p>個人宅の裏法面土止め柵工事で、資材H鋼を2人で運び掘削した穴に投入するため、H鋼片方にワイヤーを結びクレーン仕様のユンボで1.5m位起こし引き寄せるため、作業員に退避する指示を出し実施したところ、待避位置が不十分でワイヤーから抜けたH鋼が作業員のヘルメットを押し上げ、体と共に、段差40cmある家の隙間に倒れH鋼が頭にあたり救急車で運ばれた。</p>	62	30199	1~9
2	13~14	<p>フレーム（鋳物）約250kgを作業台の上に載せて面取り作業を行っていた。フレームを立てた状態での作業を完了してフレームを横にするためフレームに吊り具を通して吊り上げた。フレームを30cm吊り上げた状態で作業台の上を右手で拭いていた時、吊り具がフックから外れてフレームが作業台の上にあった右手の上に落下した。原因はフックがしっかり掛かっていなかったため吊り具が外れた。</p>	47	11209	10~29

2	10~11	被災者Aを含む15名でミーティングを実施した。キーロックを完了後、被災者Aを含む5名でTBM・KYを実施した。まず、チェーンブロック2台で下スピンドルのスラストメタル（以下SM）抑えの仮吊りを実施し、取り付けボルトをガスで切断した。その後、入側からSM押さえを吊り出すために、出側チェーンブロックを巻き下げた後、出側チェーンブロックのフックを取り外した。次に、入り側チェーンブロックを用いてSM押さえを下スピンドル上端付近まで吊り上げた後、天井クレーンによる吊り上げを行った。すると、天井クレーンでSM押さえを吊り上げ中に、SM押さえの下端部が上スピンドルの軸受に引っ掛かり、吊りピースが破損しSM押さえが落下し、被災者Aの左手に当たった。	20	11001	1000 ~ 9999
2	14~15	山の斜面にて荷掛け作業中に吊った木が自分の方に飛んで来てぶつかり、斜面を滑り落ちた。	27	60201	1~9
2	15~16	鉄工所加工場土場で、トラックに製缶品を積込作業中、天井クレーンで吊り荷を移動させ、荷台に降ろす際に補助の手を避けるのが間に合わず、左手小指を挟み裂傷及び骨折した。	48	40301	10~ 29
2	10~11	第二製缶40tヤード南側にて材料を置く場所を確保する為、天井クレーンにて自社製支柱の片付作業中、仮付け溶接にて床に固定した自社製支柱を玉掛けし、自分で吊り上げ物を押さえながらクレーンで吊り上げたところ、仮付け溶接が破損し、自社製支柱に掛けていたチェーンフックが勢いよく跳ね上がり、被災者の下顎に激突した。	52	11209	50~ 99
3	16~17	震災による墓地修復作業で移動式クレーン現場用を使用中に、碑石の上台を吊り降り取付け時にクランプの吸盤が滑り、上台が落下して右手を挟んだ。	31	10909	1~9
3	8~9	工場内でクレーンとクランプ1個を使いCT鋼1本を運ぶ作業中、CT鋼が落下し、後方へ倒れ後頭部を打ち負傷した。	47	11209	10~ 29
3	14~15	会社で機材積降段取作業中、受材の修正を行おうとして、鉄板の吊り場際（高さ120mm）で玉掛が外れ、鉄板の下に手を入れてしまい、右手を打った。	23	30302	10~ 29

3	8~9	スクラップヤード内にて、シャーリング作業の準備をしているとき、長方形の板材料（7枚位、約250kg）を140cm位の高さで吊り上げ、移動する際にワイヤーが切れて材料が落下し、右太ももに当たり負傷した。原因は、古いワイヤーの使用と不注意である。	44	80109	10~ 29
3	16~17	7t積載ユニックにて、現場から積載した踏板（網性1枚約17kg×40枚（500mm×1800mm）約700kgで1束）を荷下ろしの作業中、クレーンで吊っていた荷のワイヤーがはずれ地面に落下し、その荷が地面ではね返って自身の顔面（アゴ）を直撃した。被災者が1人でクレーン操作を行い、玉掛の仕方がよくなった事が原因と思われる。	46	40301	10~ 29
3	7~8	工場内において、試験室前にあったテストピース（コンクリート製、直径10cm・長さ20cm・重量約4kg）を移動しようとしたところ手から滑り落ち、右足親指に当たり剥離骨折した。	60	10909	1~9
3	7~8	自社工場内にて、作業しやすいように枕木を置こうと、鋳物を20cm程度フックで吊り上げ、左腕を鋳物の下に入れたとき、鋳物からフックが外れて枕木と鋳物との間で腕を挟んだ。	54	11002	10~ 29
4	10~ 11	防水槽の漏水の原因調査業務に行った被災者が、他業者が実施していた防火水槽内部の防火水を仮に貯める仮設水槽の設置作業で、敷き鉄板の揚重時にフックが外れそうになった事に気がつき、自分で直そうとフックを揺らしたところフックが外れ、敷き鉄板が被災者の方向に倒れてきて被災した。	30	80109	1~9
4	16~ 17	仮置場で、0.7t級バックホウをクレーン仕様で使用し、オペ1名と玉掛者と被災者（補助作業員）でトラックから荷降ろしを行っていた。オペレーターは玉掛者から荷降ろしをする合図があったのでバックホウのブームを下げたところ、吊りワイヤが滑り吊っていたU字溝のバランスが崩れた。被災者が荷振れを止めようとして、吊荷に対して左手をかざしたところ、右手を仮置き済みのU字溝の上に置いた時、静止してなかった吊荷を仮置き済みプレキャストU字溝に右手親指を挟み負傷した。	64	30106	30~ 49
		工事現場において、1階の屋根から2階の屋根へ、幅1,820mm、高さ			

4	10～ 11	220mmの鉄製の屋根材を引き上げていた所、材料をくくっていた結束バンドを2階の者が掴んだ瞬間に切れて、材料が真っ逆さまに落下し、1階屋根にいた被災者の左足つま先を直撃して骨折した。	38	30202	1～9
4	15～ 16	取引先の工場内で、荷物を3人（LNS2人・本人）で天井クレーンで吊り上げた際に片方のワイヤーがフックの外れ止めから外れ、左足の指先全体に落下し、指先全体が壊死状態になった。また、落下の際に左手指先に接触し、指先切断となる。クレーンペンダントは本人が持っていた。	34	40301	10～ 29
4	16～ 17	倉庫内で納入されたグレーチング（550mmの正方形、厚さ2cm、重さ16.2kg）3枚（厚さ0.5mmの鉄のバンドで縛ってある）を鉄のワイヤーロープ（長さ1.5m）で吊り、天井クレーンで移動させ既に積み重ねて置いてあったグレーチング（縦700mm横1m）高さ約1mの上に置く作業をしていた時、鉄のバンドが切れて左足の甲の上に落ちてきた。	57	80109	30～ 49
4	13～ 14	平屋建ての建物内部からALCパネルをウインチにて吊り上げ作業中、両端型ナイロンスリングで吊り上げたパネルが不安定な状態にならないよう介錯ロープを使用して誘導作業していたが、吊り荷直下に足がある状態で作業をしていた時にスリングが破断し、右足上にパネルが落下した。	46	30201	10～ 29
4	16～ 17	被災者は当日自社資材置場にて、資材の片付整頓をする作業を行っていた。集水桝を移動し置こうとした際、集水桝に胴巻をしていた玉掛けワイヤーが上方に滑り、資材を支えていた被災者の足に乗り右足を負傷した。	46	30106	10～ 29
4	14～ 15	工場内にて、加工品の向きを変えるためベルト2本でつり上げていたとき、片方がずれて左足に落下した。	65	11209	10～ 29
5	13～ 14	下水道管改良工事の道路上において、管路土留工の軽量鋼矢板打設作業中、計量鋼矢板1枚を吊り上げて打設位置に旋回移動したところ、ワイヤーロープから軽量鋼矢板が抜け落ち、背を向けて作業をしていた被災者の肩に当たり、鎖骨及び肋骨を骨折した。	52	30110	10～ 29

5	14~ 15	会社の資材倉庫内で、倉庫のクレーンを使用して鉄筋の束（9Φ×5.5m×15本、約100kg）を吊り上げて車に積む作業をしていた時、使用前の点検が十分でなかったため、ワイヤーの止め金具のネジがゆるんでいて止め金具が外れて鉄筋の束が落下し、側にいた補助作業員（被災者）の左足踝部に当たった。	23	30202	10~ 29
5	11~ 12	工場製缶場にて、30kgの材料を持ち上げるためにクレーンで吊り上げたが、クレーンの吊具がしっかり留まっていなかったために外れてしまい落下し、右足に当たった。その際、右足の甲（安全靴ガードがない部分）に落ちたので、右足首が切れ、甲には痛みとしびれがある。	48	11301	30~ 49
6	14~ 15	当社第三工場にて、FB・山形鋼・C形鋼の加工機械で、C形鋼の切断・穴開け作業中に、C形鋼を移動しようとした時、2本かみ合わせ状態の材料（長さ12m幅）を山形鋼専用ハッカーを使い吊り上げた為に途中で外れ落ち、膝元へぶつかりそのまま倒れ込み、膝が材料の下敷きになり負傷した。	57	11209	10~ 29
6	11~ 12	新築工事（第2工区）において、鉄塔基礎A脚の掘削土搬出作業中、クレーン仕様のバックホーで吊りワイヤーフックを用いて吊り上げたトンパックがフックから脱落、落下し、荷の下に入ってしまった被災者が下敷となった。	27	30209	1~9
6	16~ 17	自社の橋形クレーン（吊り上げ荷重2.8t）をリモコン操作で鉄骨階段の製品（幅1m、長さ4.5m、重さ300kg）3台を輸送用トラックに積み込み作業中、1台を積み込んだ後に1台ずつ積み込むべきところを、2台を重ねた状態で吊り上げ移動させたため、バランスが崩れてつり具が外れ、落下した製品が頭部に接触し、負傷した。	58	11209	10~ 29
6	8~9	工場内において溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテルハクレーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲の上に落ちて負傷した。	33	170101	10~ 29
		弊社第7工場内にて溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテルハク			

6	8~9	レーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲へ落下した。	33	11209	50~ 99
6	13~ 14	工場内でスクラップを移動式（床上）クレーンを用いて降ろす作業中、吊り具の荷に合わせた調整が不十分であった為、スクラップが吊り具から外れて落下し、左手が下敷となった。	67	11209	1~9
6	7~8	工機工場（第二工場）内において、バツカン（金属の箱）に小口の鋼材を入れ、そのバツカンをハッカーにて吊り上げて移動しようとした際にバランスを崩し、バツカンごと右足に落下し、親指・人差指・中指を複雑骨折した。バツカンをハッカーにて吊り上げた時に、ハッカーが滑り外れたと考えられる。	23	11209	50~ 99
7	11~12	工場内の作業で鉄板を吊っているときにクランプから鉄板がはずれ足に落ちた。	56	11209	1~9
7	17~18	工場に入りユニックを使って荷積み始める。荷台の上の製品にリングを重ねて積もうと思いリング2枚（1枚約90kg）重ねて、下のリングのわきにボルト2ヶ所に取り付けて吊り上げ旋回し本体上に上げる時、重なっているリングが動いたため、咄嗟に左手で支えようとして上のリング1枚が左手に落ちた。原因：1枚2点吊りで不安定なのに重ねて吊り上げた。	60	40301	100 ~ 299
7	11~12	工事において、リチャージウェル撤去段取り作業中、定規鉄板を設置したのち、1.5?の水タンクを吊るために吊具を装着したままクレーンを6m移動した。被災者は、玉掛のために水タンクの位置に移動した。クレーン移動完了後、子フックを下げた時に、吊具が子フックから外れて落下し、被災者の右腕及び右手にぶつかった。	67	30106	1~9
7	14~15	派遣先場内で3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊りクレーンで10cm程持ち上げたところ補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程のL字アングルに負荷がかかり外れ2m程の高さから両足に補強アングルが落下し両足の甲を負傷骨折した。	42	170101	100 ~ 299
		本社工場内で架台（長さ7m横2.5m厚み15mm重量約1t鉄材）の溶接作業			

7	16~17	をしていた。反対側に向きを変えようと天井クレーン（2t）を使ってつり上げたところ、クレーンのベルト（巾3cm長さ50m布製）が2m位上がったところで切れ架台が倒れ下敷きになって両足を挟まれ負傷した。	46	11301	10~ 29
7	12~13	荷受け現場にて、ユニック車のクレーンを使い回収荷物を同車両に積み込み作業中、ブームを起こした際に荷が傾き荷崩れを起こしそうになったため、2メートルほど離れた位置にいた被災者がとっさに荷物を支えようと近づいたところ、吊っていたスリングベルトがすり抜け、荷が落下した際に被災者にぶつかり受傷した。	23	40301	30~ 49
7	10~11	大規模改造工事にて、学校関係者専用駐車場を2日間の予定で南側グラウンドに設置をする作業で、敷板鉄板6m×1.5m×厚み22mmを昨日の続きで敷き詰める作業にて、手前から順番に敷いて左側21枚目の鉄板が隙間調整で鉄板の片隅にフックを掛けて5cmほど上げた、下に敷いたブルーシートが中にずれたので、とっさに、ブルーシートに手を伸ばした時フックが外れ、右手の甲に落ちて負傷した。	66	30201	1~9
7	15~ 16	砂でできた鋳型より製品を取り出しホイスト式クレーンで吊り移動させる際にフックのかける位置が悪く製品が足に直接落下し右足の甲を被災した。	60	11102	10~ 29
7	14~ 15	重トレーラ製缶職場で、重トレーラメインレールを吊り上げるため、メインレール専用吊り具（重さ約23.35kg）をクレーンフックに掛けようと、胸の高さ（約1.2m）まで持ち上げたとき、吊り具の重さに耐えきれずに右足首に吊り具を落としてしまい打撲した。	19	11502	100 ~ 299
7	16~ 17	直径140mm・長さ1700mmの鉄の丸材をワイヤーで吊り上げるため、まずワイヤーを鉄材の下に通すため、マグネットにて鉄材を吊り、添え木を下に挿入しようとしたところ、鉄材がマグネットから外れ、添え木を持っていた左手が引っ張られて、左腕が鉄材に挟まれてしまった。	39	11301	10~ 29
		工場内の作業場で、切断された製品を枠から抜くため、その製品の上に細長い鋼材を片方だけ接地させ、他方をパワーマグネットで吊り上げ、その直下に鉄の当てものを置いた。パワーマグネットの電源を切って落			100

7	15～ 16	下させ、当てものに激突させた。その衝撃で製品と枠を離そうとしたが、右手で当てものを少し動かしているときに、吊り上げていた鋼材がマグネットから外れて落下し、それと当てものに右手が挟まれ負傷した。	18	11009	～ 299
7	9～ 10	塗装ヤードでクレーン作業中に、H鋼を移動する際、吊り材のかけりが不十分なまま吊り上げてしまい、約50cmの高さから落下し、その反動でH鋼が横転し、足の上に落下した。	34	11209	10～ 29
9	9～ 10	牧場にて、飼料タンクに飼料を補充する為、クレーンで飼料を吊った際、ワイヤーが切れて、タンクと飼料に挟まれて腰を打った。	26	40301	10～ 29
9	15～ 16	工場内で型板（長さ1500mm幅1930mm厚さ29mm重量約670kg）を使用し曲げ加工を行おうとしていた。天井クレーン（5t）及び縦吊りクランプを使用し型板を縦吊りした状態でペンディングロールの上部ローラーと下部ローラーの隙間に型板の端部を被災者が手で押し込んでいたところ、ペンディングロール本体に型板が当たり、縦吊りクランプに掛かる荷重が抜けてクランプが外れ型板が倒れて被災者の頭部に当たり被災した。厚さ25mmまでのクランプを使用し、29mmの型板を挟んだ事、ペンディングロールまでしっかり届かない天井クレーンを使用してしまった事が原因と考えられる。別の天井クレーンを使用していればペンディングロールまで型板が届き、作業員が吊り荷を押す必要はなかったが、安全よりも作業を急いでしまったのが要因と思われる。	55	11301	30～ 49
9	23～ 24	当社工場塗装ラインにて荷卸し作業中、荷を引っ掛けていた、S字フックが外れ左目付近にあたり負傷した。	61	11301	30～ 49
9	16～ 17	脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェンブロックで巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いている攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災した。	36	30309	1～9

9	16~ 17	脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェンブロックで巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いている攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災した。	27	30309	1~9
9	10~ 11	移動式クレーンを用いて、船殻部材の積み下ろし作業を行っていた、トラックにロンジ材を積み込んだ後、被災者が補巻きを解き、クレーン運転士に指示をして補巻きをクレーン上部に戻していた所、主巻きにかけていたワイヤー4本が被災者の頭上に落下して受傷した。	45	40302	10~ 29
9	9~ 10	工場内で、材料をセットする機械（コイラー）に金属加工のため、材料（重さ500kg・長さ80cm）をセットするためホイストで吊り上げてセット中に、吊り上げていたホイストのワイヤーが切れて（劣化していた）右足に落ちて右足関節部（踵）を内外果骨折した。	39	11203	1~9
9	15~ 16	レベラー母材、MSN-CC-ZC60 0.8×245.5×C 447kg、1本をクレーンにて母材置場よりコイルカーまで移動作業中、クレーンにて移動途中操作ボタンの南ボタンと西ボタンの操作間違いを行い、西へクレーンが走行しP-2のアンコイラーDS側へ吊り荷が接触し衝撃で吊り荷が落下、落下中に右手甲と接触し負傷した。	25	11209	30~ 49
9	11~ 12	自社の工場内で、クレーンの玉掛け作業中に吊り具が外れて、吊り具が掛かっていた鉄板（約1.5t）が横滑りしてきて、その鉄板が落ちてくるのを避けようとしたが、転倒して足を挟まれた、その際は、特に問題ないと思い、納品のため外出したが、耐えきれなくなり、病院へ連れて行かれた。	32	11301	1~9
9	11~ 12	本社倉庫内にて、クレーンで鋼材（チャンネル長さ5.5m）を移動させ、降ろしてワイヤーを外しているときにチャンネルが崩れ落ち（高さ45cm）、左足に当たり、脛骨・腓骨を骨折した。	34	80409	10~ 29
	13~	アングル材2本を天井クレーンで定盤の上に移動していた、2本目のアングル材の移動が終わり、吊り具のクランプをはずしクレーンを巻き上げ			50~

9	14	たところ、同じフックに掛かっていた別の吊り具が、当該アングルにひっかかり定盤の上から落下し、左足の上に当たった。	55	11209	99
9	10～ 11	工場内でフランジ（φ136cm×厚さ12mm、重量80kg、ステンレス製）をクレーンで吊り、下ろした際にクランプから外れて右足に当たった。	53	11301	10～ 29
10	17～ 18	自社工場内で修理済のベルコンを設置するため4tユニックを使い、ベルコンを台に載せる作業をしていたが、このベルコンを吊っている吊りベルトが切れ台が落下してしまった。その際にベルコンに当たり、台は倒れて足が挟まれ両足首を骨折してしまった。本来であれば荷重に耐えられるかを確認すべきであったが、確認不足のため事故が発生してしまった。	39	150102	30～ 49
10	15～ 16	会社工場内に於て、グレーンで鉄の品物（約200kg）を吊って溶接作業中、向きを変えようとした際、金具がはずれて誤ってその下じきになり、左腕上腕部及び左眼瞼を切傷、左胸肋骨を骨折する。	44	11209	1～9
10	14～ 15	資材倉庫において4Tダンプから敷き鉄板を下ろしたとき、天井クレーンの吊り具が外れ、左足の上に落ち負傷した。	54	30209	1～9
10	17～ 18	天井用クレーンで鉄板を挟み移動させようとした時に挟み方が不十分だったため滑り落ちてしまい、その時右足の太ももに当たり、その衝撃で右足首を骨折した。	37	11209	10～ 29
10	13～ 14	被災者は2倍ハウス解体作業中、屋根部分をユニックにて吊り上げてハウスの床部分をワイヤーと荷締機にて引き上げている際にリン木の支えが強すぎて荷締機のフックが外れたと同時にリン木の支えも外れ弾みで落下したハウス床（約100kg）と地面の間に挟まれ背骨を負傷骨折した。	60	40301	100 ～ 299
11	11～ 12	資材整理作業のため25tラフタークレーンを使用し、キーストンパネルを移動する際、吊荷が滑り落ち、被災者の左半身に激突し、はね飛ばされて倒れ込んだ。	24	30201	1～9
	13～	木造共同住宅新築工事現場にて3階床パネル据付作業中、別の作業員がクレーンで荷揚げをしていた床用パネルの一部が外れて落下してきた資材が			

11	14	ぶつかり、体勢を崩して落下した。その際2階床でバウンドして更に階段設置前の床穴部から1階へ落下し、全身を強く打ちつけ負傷した。	73	30202	1～9
11	18～ 19	駐車場横歩道内にて、管路埋戻し作業中、土留め材（アルミ矢板）引き抜き作業時、バックホウ（クレーン仕様）のワイヤーとクランプが外れ落下したクランプが被災作業者に当たり左手小指を切断となった。	40	30110	1～9
11	9～ 10	当社工場の型場にて金枠に砂を入れ鋳型を作り、作業している所から2～3mの場所に鋳型を移そうとクレーンに付けたワイヤーを金枠の吊り手に掛け移動しようとしたところ、吊り手の溶接部分が折れ金枠が足に落ち足の指を骨折した。	60	11002	10～ 29
11	11～ 12	木製パレットに20個（10個×2）積まれたCチャンネル（200×90×8×33cm）1つあたり重量10kgをクレーンで吊り上げていた。地切りを行ったが50cm吊り上げたところ、フックからワイヤーが外れ積んでいたCチャンネルが崩れ、最上段の1個が右足の甲に落ち負傷した。	27	11301	30～ 49
11	8～9	ショット工場で型バラシをした製品を吊金具で移動作業を始めた時、外れて右足の上に落ちてしまった。（安全靴を履いていた。）	57	11002	10～ 29
12	11～12	会社工場内で金型の組み付け作業中、金型部品（アルミダイカスト製、800×1,000mm、約100kg）をマグネットを付け固定式クレーンで吊り上げようとした際に、マグネットの装着が十分でなかったため金型部品が落下し、被災者の右足の上にぶつかり負傷した。	24	11209	10～ 29
12	8～9	発電所取水ダムに魚道を新設するため、型枠組立作業現場において、単管パイプの残材の片付け作業を行っていたとき、長さ4mの単管パイプ45本を被災者が玉掛用ワイヤーロープ（9mm、?＝4m）2本を使用して単管パイプフレーム（100本用）と一体となる様にして、目通し吊りを行い、地切り後に無線機を使用してクレーン運転手に巻き上げの合図を送った。クレーン運転手は足場の陰より単管パイプが見えかけた所で旋回作業を行ったところ、単管パイプが滑る様に抜け落ち、被災者の上に落下	46	30199	1～9

		した。			
12	11~12	工場内1階作業場にて、床に鉄板を敷くためクレーン操作中、60度位に傾けたところ、金具が外れた。その際、右足大腿骨の付根部分の骨折、右足踵・踝の複雑骨折、右足脛の裂傷を負った。	53	11209	10~29
12	13~14	中古車販売センター内にて、看板を設置するためクレーンで吊り上げている途中に、地上より1m位の所で突風に煽られ、吊りワイヤーが切れ、看板が落下した際に、誘導者が看板の下に足を挟んだ。	44	11709	1~9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)